京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し、急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久静一郎
發行所 京城西署西小門通(電話六六三) 京城新報社

本邦金融緩漫

[illegible]資金の回收さるべ[illegible]て此處當時落着き[illegible]極度の民間貸出の[illegible]十五日までは千九百[illegible]移動を示さずして一[illegible]銀行の公定割引歩[illegible]げを行ひたるにも[illegible]めとして民間銀行[illegible]尚ほ未だ振はざるの[illegible]種の放資物なきもの[illegible]歩を來さゞれば遊資[illegible]積して金融益々緩[illegible]たる上に日銀利下げ[illegible]錢五六厘なりし普通[illegible]にして昨今一錢四五厘[illegible]確實なる有價證券を[illegible]錢三厘を以て貸出に[illegible]るものにしても一流銀[illegible]一流銀行以下にあり[illegible]も需要に應ずるを憲[illegible]一般に區々に低落し[illegible]事一の如きに至りて[illegible]唱へたるに昨今に至[illegible]引下ぐるにあらざれ[illegible]へ得意先の滿足を得[illegible]小銀行中には六厘の[illegible]等しつゝあり來月國[illegible]に至らば金融一層の[illegible]重るやも知れずされ[illegible]つゝある半島金融界[illegible]るに至るやも圖られ

●カード式統計手續

[illegible]本年度よりカード式[illegible]作製することゝなり[illegible]聞くに從來外國貿易[illegible]於て整理し關税局に[illegible]報告する諸表を調理[illegible]重要品概表、貿易月[illegible]を發行し來れるが本[illegible]各税關の統計事務を[illegible]製表に至る諸般の手[illegible]に於て取扱ふこととな[illegible]も從前は僅かに五六[illegible]年以來約四倍の增員[illegible]先づ事務の從業多數に據りたることを推知せらるゝが今各税關より如何にして原材料を供給するやを聞くに之れは申告書に代用すべき統計小票なるものを用ゐ小票記載事項の審査、其發送其他本局との連絡、交換に遺憾なきを期するため各税關には統計事務に熟達せる一名の統計所掌を配置し該統計所掌は前日の統計小票を翌朝一纏めとし特製の布帛製封筒を以て本局に送致する手順なるが本局にては各小票毎に嚴重に審査し誤謬脫漏等なきことを確めたる上右小票を各品別に截斷し備付の本箱に挿入整理するものにして箱數は輸入品用十一個、輸出品用二個、雜用(船舶金銀貨幣)一個あり該本箱の構造は縱三尺七寸五分幅三尺四寸深一尺餘にして每箱を更に四百三十五の小穴に區畫し一穴每に品名を貼付し尚各税關所在地別に細別しあるを以て各港別に各品輸出入の狀況を觀察するに至便なるのみならず日々各關より送致し來る幾千枚の統計小票も短時間の中に秩序能く整理せらるゝ等其方法一見頗る簡明に見受らるゝに今般の變更は實に統計事務整理上の一革進と云ふべく統計事務の統一及整理上大に注目するに足る一現象なるべし因に記す右の如き組織の變更ありたる結果旬日報の代はりに前年半月報告を發行することとなれる由なるが重要品概表、貿易月表、同半年表等は從來より一層詳細なるものを發刊の計畫なるやに聞き及べり

地方通信

▲釜山通信

▲漁港經營問題　曩きに當税關埠頭に築造せる度支部所管たる漁港經營に就いて二十日來釜したる庵原水産課長は山個税關長を訪ひ其の方針に付き打合はせをなしたる由にて豫て噂されたる如く水産組合にて引受くるに立到るならんと傳へらる

▲製氷と冷藏庫　既に大体の工事を了したる當港の製氷及び冷藏庫設備は來月より作業開始の筈なるが此等の工事費は通じて三万圓を要したりと

▲平壤通信

▲片倉組の林檎菓木植付　曩きに當地片倉組事務所にては昨春北海道より多數の林檎苗を植付たるに不幸にして其の大半枯死したるが例は本年も解氷期を待ちて秋田より購苗木約一万本を取寄せ久次米技師に依賴して植付くる由

▲監督局金種檢査　當財務監督局にては管内に於ける各部の金種を本月末までに全部檢査する筈にて局は其れが爲め昨今頗る多忙なるものゝ如し

▲舊白銅貨の回收高　管内各部金融組合其の他にて回收したる舊貨は目下韓銀支店に漸次輸送し來りつゝあるが本月十五日までに集りたるが舊白銅貨一萬七千七百七十二圓五十錢葉圓一千五十圓五分圓五十三圓二十九錢五厘なり

▲石炭缺乏と暴騰　當地販業者は實行不良を見越して輸入を手控へたる爲官衙は兎も角各町家の需要に供する程には足らず其がため一時に暴騰し舊臘上旬には一噸の價十一圓臺なりしも年末に至りて三圓臺により昨今にては十五臺と云ふ近來稀なる大奔騰を見るに到れり而して一叺の價一圓三十錢なるが斯業者は三叺以上は賣らざる方針なりと云ひば一噸を購求するときは十五圓六十錢を捨つる割合なり之れにも一噸とまとめて購求する能はず其れに從來は各官署者側まで運搬しつゝありしものが昨今にては貯藏所前にて取引しつゝある有樣なればこゝ四五日入沖あらざるに於ては迚ても石炭の供給はつかなければ種々しき大變動を醸すやも知れず

▲元山通信

▲韓人と鐵道問題　鐵道期成會にては前三日韓人商業會議會長を訪ひ鐵道問題に就いて協力運動を謀りしに韓人側も素より望む處なりと以後は合同して運動法を講ずべしとなり

▲堀局長送別會　今回光州財務監督局長に轉任したる堀課長の送別會は十九日大芳樓に開かれたるが頗る盛會也し

▲幼稚園基金に就て　本願寺幼稚園基金募集のため愛國婦人會にては近々演藝會を開催する由なり

日本銘刀傳

第廿七席　邑井一 講演

さて正宗に翌日出立しやうと云ふ處へ前夜の金入がやつて來まして 金「さて昨晩は失禮致しました」正「オ、是れは金入さん、前晩は飛んだ失禮をしました、定めて御立腹でもあらうけれども何うか勘辨して貰ひたい」金「いゑ、何う致しまして、全く私が惡るいのでございます、時に宗匠に是非御願ひ致したいことがあつて參りました」正「ハ、ア何ですかな」金「なーに外でもございませんが、此半里許り在に大鐘村と云ふ所がございます、其所に手前の親戚がございまして、造酒屋をして居りますが、名を齊柳勘十郎と申します」正「ウーム、成程」金「其の勘十郎に一人の娘がありまして、名をお定と申しますがフト病氣に罹りまして」正「夫れは定めて御困りでありませう、年は何歳だね」金「十七になります」正「夫れは〳〵娘盛りであるのに何うしたことだらうね」金「其病氣が普通の病氣ではないのでありまして、夜になると顏が恐ろしく怖くなつて、もー〳〵と、牛の鳴聲を出し、八つ頭から明七つ頭までと云ふものは、夫れは〳〵非常の苦しみでございます、醫者も手を換へ藥を替へて種々手當をしましたけれども、何うも効能がなく、何でも牛の生靈に取憑かれて居るんだらうと、加持や祈禱をもしましたけれども、是又何の効能がございませんので誠に困つて居ります」正「お氣の毒でありますな」金「何分一人娘のことでございますから家内の者も大きに心配致し居りますので、就ては宗匠に一つ御出でを願いたいと思ひまするが如何のものでございませうか」正「夫れは私とても醫者ではなし、往つて上げることは何の造作もないけれども私は醫者でもなければ修驗者でもない故、其の病人を癒すの何うのと云ふわけには往きません」金「イエ、其所でございます、事に依つたら娘の病氣は妖怪變化の業であらうと思ひますが、何うしても是れは其の妖怪變化の憑きますものを眼の前へ突き付けなければ、其の妖怪も落ちまいと思ひます就いては當時正宗宗匠の御刀と云へは天子樣の御守刀ともなる程のもので、世間では寶物のやうに大切にして居ります、其位貴い御刀であるゆゑ妖怪變化も、其御刀の德に恐れてしまふだらうと昨夜も家内と話を致しましたのでございます、其恐入りますが村まで御同道を願ひまして御刀を拜借して娘の眼の前へ置くな、又は背中を撫るなりしてやりたうございます」正「イヤ折角の御頼み故參ることはいと易いことではありまするが、なか〳〵私の刀に其樣な德はありません」金「何う致しまして、唯今も申す如く天子樣でさへ御守刀になさるくらゐの名刀でございます、何うか御同道を願ひまして御刀を拜借したいものでございます」正「夫れなら御同道するとしやう」金「難有うございます」是れから宿屋の勘定を拂つて金入と同道で大鐘村へと御出でになつた、齊柳勘十郎大に悅びまして勘「さあ何卒此方へ……」ヅッと奧座敷へ通られると、正宗の刀に恐れたものか、娘は急に泣き出して 娘「ア、恐い人が來た、恐いものを帶して居る、オ、恐わい〳〵、何うか其人を此座敷へ入れて下さるな、オ、帶して居るものが恐わい〳〵」と云つて坐敷中を逃廻つて居るやがて、正宗へ茶を出し初對面の挨拶を爲して後、若者等四五人掛つて娘のお定を捕らへて後手に縛し正宗の帶して居りました隱居差し、細身ではあるが立派なものだ、勘十郎は此刀を借りまして三寶に載せ、お定の傍へ置きまするとお定はキャッ〳〵と泣き叫ぶ 娘「あれ、お父さん、怖い〳〵、何だかピカ〳〵光るものが來たア、怖い〳〵、怖いから早く彼方へやつてお呉れ、身体がゾク〳〵して來た怖わやのうとバタ〳〵足をやつて暴れて居る、何うしても變化が憑いて居るものとしか見ろない 娘「アレ、早く其樣な怖いものを早く何方へやつてお呉れよ、怖やの〳〵」



廣告

緊急廣告
拙者從來使用來り候圓形實印一月二十一日遺失候に付爾後押捺のものは總て無効のものと御承知相成度此段廣告仕候也
明治四十三年一月廿一日
京城明治町三丁目 日韓印刷株式會社 明石桐一

最上 醬油 韓國仁川 日本醬油株式會社

御料理席貸 和樂園 高田家 米倉町(電話九三七番)
○料理は高等御手輕にして高尚
○園内は至極閑靜にして別世界
○土地高燥にして見晴し京城一
○大廣間の設備も有之候間集會又は宴會等に適當に候

(電話一一八二番) [illegible]
金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は叮嚀に取扱極めて安全に一定の場所に保管す
京城鍾町 大槻商行質部
流質品と雖も期間大切に留保し可成長期間の許す限り萬遺漏なきを期す

[illegible]

京城旭町壹丁目五四 齒科 齋藤英壽 電話一四一四番

新築開業 御待合 京城永樂町三丁目永樂湯前 松月 電話一三四五番

眼科專門 京城本町二丁目憲兵分遣所前 江頭眼科醫院(電話三一三)
前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

割烹開業御披露
拜啓嚴寒の候に候處四方御客樣益々御清穆奉賀候扨て私儀曩きに壽町食道樂に於て相勤め候節は不手際なる料理にも不拘格別の御賞味を賜はり爲めに同店の益々盛大に赴きし段深く奉感謝候、然るに客臘都合に依り食道樂と關係を絕ち南山町一丁目(元にしき跡)に於て獨力にて料理店相營み來る二十五日開業の運びに至り候、元より食道樂時代さ同じく料理其他道具萬端を精選し且つ全くの色氣拔きにて料理の美味を誇りさ致す者にて頗る安値を旨と致し四方御客樣方の御意に叶ふ樣可仕候條何卒以前に變らず御引立の程偏へに奉懇願候
明治四十三年一月廿二日
南山町一丁目(元にしき跡)
電話千五百二番 す津祢
主人 相原敬白

開店廣告
料理 洋食 すき燒 辨當
食て後ち御評判を乞ふ
金十五錢均一 出前も致升
鍾路裁判所向裏 鍾路軒

第七期營業報告

貸借對照表

負債之部

諸預り金	六〇三、五一一・二一五
仕拂送金爲替手形	三三、一二七・六三三
他店より借	三、四四〇・〇〇〇
資本金	一五〇、〇〇〇・〇〇〇
政府貸下金	一八〇、〇九六・五〇〇
諸積立金	六九、二一八・五一〇
配當未濟金	[illegible]
本季純益金	二〇、九一七・四四七
前季繰越金	一三、六八〇・三二〇
假受金	二五〇・五三八
合計	一、三九四、七九二・二六六

資産之部

諸貸付金	三七六、二九二・〇〇二
割引手形	三五五、九六四・八八一
有價證券	二四、二四一・二〇五
他店へ貸	一四〇、五七七・六四一
預け金	一八七、一二二・四七二
拂込未濟資本金	三七五、〇〇〇・〇〇〇
營業用地所建物	二〇、二六・一〇〇
營業用什器	二、二九五・二一〇
假拂金	一、九三五・三二〇
金銀在高	三七、八五四・四〇〇
合計	一、三九四、七九二・二六六

損益

一金二萬九百十七圓四十七錢 本期純益金
一金一萬三千六百八十圓三十五錢 前期繰越金
合計金三万四千五百九十七圓八十二錢
此分配計算如左
金五千圓 積立金
金八千五百八十一圓四十九錢 別途積立金
金一千圓 配當積立金
金四千七百五十九圓三十七錢五厘 配當金(年一割)
金二千圓 重役賞與金
金一萬四千二百五十六圓九十五錢五厘 後季繰越金
右の通り相違無之候也
株式會社 大韓天一銀行 支配人 遠山 [illegible]

滿洲劇の開幕(十)
韓半島に及ぼす影響

京城新報

[illegible]

東京電報

減租案と政友會

[illegible]

進步黨決議事項

[illegible]

貴族院の第一日

[illegible]

開港通商

[illegible]

選擧法の改正案

[illegible]

旅順開放と滿鐵

[illegible]

中立拒絕の理由

[illegible]

旅順鎭守撤廢

[illegible]

統監府員に賜餐

[illegible]

中學生徒の遭難

[illegible]

桂首相の演說

[illegible]

も玆に結了を告ぐるに至りたり帝國の滿洲に對する方針は門戸開放機會均等主義を尊重し滿鐵の經營上其事項に於て遺憾なきを期待したるものにして其の誠意は列國の認むる所なりと信ず韓國に對する帝國の關係は既に銀行を設け司法監獄事務の委託軍部廢止等の實行に就て多少親密を加へ帝國の保護政策を確實にすることを待たり現今の條約有效期間は最早數年に迫れるを以て政府は改正に着手するの準備に怠らず而して之が爲め現行關稅定率法を改正するの必要を認め其の改正案を議會に提出したり帝國財務に關しては昨年諸君の協贊を經て成立したる豫算は實施以來僅か半歲に過ぎざれども幸に財政方針確立し漸次內外の信用を回復するの效果を示せり政府は來年度に於ても此財政方針を維持し產業の發達財政の整理を全からしむることを期す既定皇室費は卅年前の制定に係るものにして今日之を增加するは最も適當の事と思考す稅法に就ては其偏重偏輕と爲め負擔の均衡を計るを以て目的とし調查の結果最も急務と認むるものに對して整理案を立て之に關する法律案を提出したり又米價の騰貴貨幣法の改正に促され多年の問題たる官吏增俸も亦已を得ざるものと認め本年度剩餘金中より急用己むを得ざる財源を除き其の殘額を國債償還に充るため之を國債整理基金に臨時繰入金とし以て益々國債整理の實果を擧ることを期したり其他產業發達敎育施設運輸交通機關の整備等苟も國力の發達に資するものには財源の許す範圍內に於て之が實行に勉め右の方針に依り編成したる豫算案は凡て議會に提出したり幸に諸君は其趣旨を諒とせられ愼重審議速に協贊を與へられんことを本大臣の切に希望する所なり

統監政治の質問

憲本黨代議士大內暢三氏は二十二日統監政治に關する質問書を提出したる由なるが其の要點は左の如し

一、從來の統監政治は緩漫に過ぎ韓國人の感想を歸一せしむるを得ざるのみならず却て文化の進運を阻害しつゝあるにあらざるか

二、統監府の政治は徒らに韓人の懷柔策にのみ腐心し本末輕重の理義を正さずして只徒らに細末に向つて紛亂を釀生しつゝあるにあらざるか

三、統治の根本を解決するにあらざれば韓國將來の獨立自營を期待し得ざるのみならず韓國を指導啓發するに當りては我が帝國民の勤力を阻否すべきに非ざるか當局の對韓政策如何

福島將軍の着期

福島中將一行六名は二十二日安東縣に到着し扇住旅館に投宿し二十五六日頃新義州に至る豫定にて多分着京期は二十七八日頃なるべしと云ふ

●漢城府衞生會成績

客年下半期の漢城府衞生會の成績を聞くに上半期と大差なけれど九十の二箇月は虎疫流行の爲め大打擊を受け汚穢物收去搬出の遲速は病毒傳播に密接の關係あり南部管內は夜間搬出を行ひ車輛の覆蓋を新設し光熙門外に糞池を急造する等經費の增大を見たるが爰に新たに經驗したるは糞尿の容積一石は之を重量三十三貫目に換算し來りしも右の內泥土瓦礫の混合せるもの極めて多く尤も重きものは一石に付七八十貫より少なきも四十貫を下らず依て隆熙四年度より平均容量一石は重量五十貫に換算する事となれり即ち從來擔桶一箇分一斗二升を一斗三升となすに至れる由今左に成績を示すべし

屎尿	一日平均	京城七百七十二石八斗六升
		龍山一百十九石六斗八升八合
計		八百九十二石五斗四升八合
塵芥	一日平均	京城一千六石一斗三升
		龍山百七十四石五斗四升三合
計		一千百八十石六斗七升二合

以上に對する細別を揭ぐれば

事業日數	一八一日
平均一日の除穢費	六二二圓八六〇
一戶一日の除穢費	〇一三
一人一日の屎尿	四合九八
一人一日の塵芥	七合〇九
人夫一日平均戶數	八三戶五〇

にして除穢費年額十六萬八千餘圓につき一戶一日の除穢費を算出せば即ち一日九厘五毛弱なりと云ふ

●光州の產業的發達

慶尙南道光州は同觀察府の所在地にして韓人人口三千以上の一都市なるが近來日本人の在留者も亦次第に激增し現今にては既に千餘名の多きに達し居れり而して該地方面は竹藪到る處に繁茂し居るを以て之を利用せん爲め竹器製造所を起し韓民の子弟を收容して其技藝を傳習しつゝありしが當初は兎角遲々として之が養成に困難なりしも客秋來漸く習熟するに至り同時に精巧なる器具數多產出するを以て地方民の注意する處となり近來は非常の好望を以て歡迎せられつゝあるが如し又同地には機業及窯業の傳習所ありて是亦地方出の囑望一方ならず隨て產業地として同地は前途多望の機運を迎へつゝありと當局者は語れり

●賦課金の徵收手續

從來民團法施行地以外の小居留地に於て日本人會を組織するも在留民の賦課金徵收規則を定むるに當り强制徵收を規定する能はざるを以て各地日本人會に於て賦課金徵收に就て紛擾絕へざりしが今回元山理事廳に於ては理事廳令第八號を以て日本人會設置規則を發布したるを見るに正當の理由なくして日本人會費其他の課金を納めざる者は十圓以下の過料に處すとの規定あり其他日本人會設立の手續及び日本人會評議員選擧規則等を頗る周密に制定したり各理事廳とも元山理事廳令に倣ひて日本人會設置規則を發布するならば小居留地の紛擾を根絕するを得べしと云ふ

●祠忠祭と各參拜者

二百年前英祖皇帝に仕へて誠忠を竭したる李健命、趙泰采、李頤命、金昌集の四名を祠れる漢江河畔の鷺梁津にて一昨二十三日忠魂を吊する壯嚴なる祭典行はれたり學部大臣李容植、農商工部大臣趙重應、宮內大臣閔丙奭の三大臣は午前十時南大門發列車にて鷺梁津に赴き目下同地に隱遁せる兪吉濬以下十數名の出迎を受けて祠前に到り恭々しく參拜せり猶ほ此の他に元老侍從外一般の參拜者百餘名を數へたるが午後一時半無事に式を終り三大臣は午後三時三十分の列車にて歸京せら

●工業傳習實科設置

農商工部工業傳習所にては兩班子女の徒手爲すなく空しく深閨に潛み居るを救濟せん爲め授產制度を設けんとの議ありしが調查の結果却つて種々なる弊習之に伴ふと認め今回同所規則を改正して實科なる一科を增設し簡易なる方法を以て技藝を習得せしむるに決したり而して實科生は年齡二十五以下十八歲のものにして一箇年以內の短時日に於て終得せしめ卒業者に對しては器具器械等の貸與を爲すべしと云ふ

●期成會と東上委員

去る二十三日午後六時より商業會議所樓上に於て鐵道期成會總會を開きたるが出席員二十五名にして東上委員の選擧を行ひたる結果大村安太、曾我勉の二氏當選したり而して大村氏は來る二十六日出發する由にて曾我氏も本月中に出發東上すると云ふ街は群山居留地よりも三南鐵道速成運動の爲め別に委員を東上せしむる筈なりと云へり

●漢江船橋架設許可

龍山本町三丁目上田充氏は曩きに漢江船橋架設の許可を得其の設計をなしつゝありしが去る二十二日同氏は在龍各運送業者と龍山民團に會合し設計に就いて種々協議の結果他船の稼役上不便ならざる範圍に於いて架設する事となりたるが之に就ては一應仁川同業者とも協議するの必要あるを以て廿四日上田氏は協議のため仁川に向へり

●輸穀增稅と會議所

穀物輸入稅增率案は今期の議會に提出せらるゝ事となりたれば群山商業會議所は第一着に反對運動を着手し一方韓國商業會議所聯合會の聲援を得て大々的運動を開始せしが仁川商業會議所に於ては昨二十四日午後三時より右に關し役員會を催ふし運動方法其他に就き協議する處ありたりと云ふ

●獸醫配布と警察官

內部にて屠獸法實施と共に獸疫檢查食肉取締の爲め各道へ一人乃至二人の獸醫を派遣したるが數多き屠場なれば一二人の獸醫にて手回り兼ぬる場合勘からず依て獸醫は豫め各道警察官に獸疫診斷食肉鑑別の智識を講述によつて普及し置き手不足の場合に限り警察官をして檢查取締を勵行する方針なりと

●國民演說會建白書

國民大演說會にては日本政府及貴衆兩院議員に建白書を送らんとしたるも警視廳の殷訓を受け統監府へ差出すべき旨下命せられたれば幹事會の面々は更に鳩首密議の結果兎も角も統監府へ右の建白書を上る事に內決し今明日中に二三の幹事より差出す筈なりと

●龍山民會の開會期

龍山民會に於ては諸規則改正案の委員附托となり居る者に就き各委員は每日民團に集合し委員會を開き極力調查中なりしが愈々二十四日を以て決了したるを以て多分四五日中に民會を召集しこれを附議するに至るべしと云ふ

●韓國船舶法實施期

韓國の船舶法は過日參與官會議を通過し多少の修正を要するところ有るを以て目下關稅局にて修正中なるが之れと同時に統監府令を以て發布さるべき船舶檢查規則も同時に發布の必要あり旁以て其實施期は來る三月中旬ならんと

●經濟協會の發會式

龍山經濟協會設置さることは既報の如くなるが去る二十三日龍山民團役所に於いて發起人會を開催し協會に關する會則等の案を附議し愈々來月第二日曜を以て發會式を擧ぐる由なりといふ

●獸肉販賣規則準則

屠獸法實施と共に獸肉販賣に關しても取締を勵行する必要あり內部にては目下獸肉販賣規則準則制定中にて各道共之に準じ道令にて取締規則を發布の筈

●記事一部の訂正

二十三日發行本紙揭載總裁に辭職勸告なる記事中在韓軍人中の有志一團とあるは有志者某々等の誤に付該記事の一部を訂正す

●師範生工傳觀覽

漢城師範學校生徒は明二十六日敎官に引率せられて工業傳習所の觀覽を爲す筈なりと云ふ

●服部夫人の葬儀

通信管理局經理課長服部正一郎氏夫人淑子の葬儀は廿三日午後一時南山本願寺に於て執行三百餘名の會葬者ありて盛儀なりしと

不經濟の煉炭製造
(武田海軍少將の談)

海軍と平壤煉炭の關係に就ては既揭の如くなるが猶ほ同少將も煉炭としての價値に說き及んで曰く元來海軍艦艇用の炭質は最も灰分の稀薄なるものを可とし此點に於ける平壤炭は彼の大英炭に優さる事數分なるも之を煉炭に製造せんか該地にては材料費を始め一切の工費頗る多額を要するのみならず之を內地に搬出するに尠からぬ費用を加算し到底德山の經濟的なるに如かざるなり故に吾が海軍の爲めには寧ろ原料として購入し度と德山に輸送し煉炭に製造するの遙かに有利なるを認む斯かる不經濟をも顧みず煉炭所を設[illegible]

●武田少將の歸任

[illegible]

韓銀督見錄

[illegible]

公人私人

[illegible]

▲治外法權

[illegible]

シガー、ブドウ酒、ブランデー、洋菓子、果物カン詰類
シガレット、シャンピン、ウヰスキー、キリンビール、タンサン水
卸小賣
歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 金銀屬美術品 直輸入商
京城本町二丁目
辻屋
本店電話二四八
支店電話三六六

両手に命の色男



懸は何れに掛るやら
太郎と可祝の引張合

浮いた稼業の慣ひなら別に見や角目にかど立てゝ悋悋沙汰でもあるまいとは食はず嫌ひの外目の云ひ分勤めする身は何更に悋いた妬いたの多しとか爰は新町遊廓井門支店の太郎とてツイ此の間本紙にて其の勤め振を摸披露せし若妓のあるは讀者先刻承知の事偖も其の太郎今年は恁うした當り年か猫枯れ切つた去年の暮も何處へやらトン〳〵拍子の大當り オホンと許り濟し居る其の喉の中に寄込まれ何れは例に洩れぬ客殿の一人にて某と呼ぶ色男あり 懸る東大門の附近にて少しや身分のある男とか身分ありやてこそ金ありやてこそ左其の遊興の爲方さへ野暮にも落ちぬ流泊りと慣氣のないが太郎拍子の御意に召し勤め氣離れた遊びは以心傳心の感應作用恁うやら男の胸にも響き今は双方相惚れの切つても切れぬかた〳〵い仲とかの夫れ丈なれば別段に両手に命杯と云ふ危ない事件は起らねど茲に同廓玉の家に昨年の末店張りせしまだ新顔の可祝とて持つて生れし客氣者あり某ぞのとは前々から深い馴染の仲なりしが今日此頃は恁うの影も姿も見せぬにアレ怪しな事と氣を注けて探つて見れば何ぢやいの目と鼻先の井門支店は入口は入八間屋で名の高い都とか云ふ料亭の床机に腰を落ち附て來るか〳〵と俟ち掛けたりかゝる事とは神ならぬ身の某は或晩知友三名と連れ立つて來車夫の掛聲さへも勢ひ能く井門支店に乘込む様子にサア八御歡御参なれと許り都を飛び出した可祝女郎能魔眼で跡追つかけしが口惜しや車と女の足姿は井門に消え失せて入仰しやーいの顯聲のみぞ跡を曳くに無念千萬は万々に突然我が家に立歸り電話室に駈け込むや受話機を捉つて口惜ッと邊り構はず泣き出せしより仲居帳場は仰天し怎うした事と云ふをも聞かず「現在妾を振り捨てゝ外の女に寝取られては、わ、妾の顔が立ちませぬ」と狂氣の沙汰にまま待つた交換手さへも出ぬ内に幾ら口説を云ふたとて向ふに通ずる譯でもなしと云はれてホンニさうだわと云ひつたか怎うだか知らね共其後某の元へ舞ひ込しは山鳥の尾の長々しき恨みの文此の末共に太郎女郎にれ通ひなら妾も女の瑕ちや若井戸へなり共身投げして命で面當て見せると大變もない量氣込に之を聞いたる太郎拍子も江戸ッ兒氣性で敗くれば恁う可祝が其れ程意地張るなれば妾も一歩も讓りません先方が井戸で身投げなら妾しや首でも縊りませう枝振りの好い松の木を搜して置て頂戴と可祝に劣らぬ長文句に流石色男の某も両手に命の遣り場なく〳〵ハテナア是は何方に掛けて好い者かと太息吐息の暑煩中とは色男にもなるまい〳〵

彗星の出現

▲仁川觀測所の發見

廿三日午後六時廿分仁川觀測所の日直正員岡技手は恰も月尾島の方面に方り彗星の出現し居るを發見せり岡技手は同時直ちに之を實測せんとせしも折惡しく十有九個所よりの應答に忙殺されつゝある間に該彗星は終に七時五分に至りて雲間に沒し去れり此彗星は蓋て世間に評判高きハレー彗星にしては少しく其出現(寫眞にては昨年九月より同觀測所にて撮影しつゝあるもの)の早きに過るやの觀あり或は別個の彗星にはあらずやといふ

清次拍子の大願成就

▲好きなれ方と新世帯

東西〳〵茲元で覽に供しまするではないれ顔に入れる廓文章世話場の一幕處は仁川一富士樓にて其の名も清次と呼ぶ左褄あり囲んだ眼の色黑のと云て了へば何と埒のない話なれど其處はそれ人それ〳〵の好き不好き一寸取柄のある可愛らしい口許が氣に召したとか何とかで昨年末の頃はいから乳蕪始めし男と云ふは燒死造りも宏大な廣昌洋行とか云ふ海岸通り清商の店員にて伊東某と云ふ優男初め逢ふ夜の枕から松山の末かけて變らずとの誓ひはあれど妾は氣でないが清次拍子にて君しや浮氣は出やすまいか外の女に取られはせぬかと安い心は寸時もなく無許り焦つて居たりしが斯かる時こそ神頼みと逐々大神宮様迄を擔ぎ出しての御日參哀れ妾の切ない心れ察しあつてあの好きな〳〵伊東さんと添ひ遂げしめてと新願百日其の一心が貫つた者か豫ての思ひが成就して綺麗麗張り泥足抜いて嬉しいわいなの新世帯好いた同士が差し向ひの文句通りになつたのが丁度去年の暮れつ方去りながら世は塞翁が馬の譬三日目ぬ間の薬櫻とやら添ふて間しさ思ふ間もなく或日清次が國元より親の急病さぐ歸れと思ひ懸けない電報に泣く〳〵伊東と別れして一旦古郷に歸りしが親は逐々彼の世の人あゝ話らんと思ふ程今は一日もれ主の側が戀しうて昨今矢を射る催促は旋妻を呉れどの事なるが何ぞ計らん其の主は嫂の居ぬ間の洗濯と飛んだ浮名の了見を出しさる處はさる仲居どのと密と嬉しい濡事の今熟々の最中とは聞けど夫れ迄の口説話は餘り野暮な人殺しと粹を利かして黒幕の之れ位にてチョン〳〵

●日清水掛論

去る廿一日午後十二時頃の事なり廣岡縣生れ目下度支部の雇人なる北郷松城(一八)と云ふ若者友人亞水某と共に南部小公洞を通行中空腹を感じたるまゝ附近の陸全龍と呼ぶ支那饂飩屋に登樓し一椀宛の饂飩を注文なして食事中何事か申出し清人の言葉不通の爲めに爭論を引起し遂には警察の御厄介となりしが互ひに我田引水の水掛論にて北郷は四五人の清人寄り集まりて無暗と亂打せりと述べ樓主洪某は有合せし亞鉛製の柄杓にて斯くの通りに撲られたりとて額ひの傷を示し何れを是とも非共分ち難けれど畢竟は言語の不通より生せし事と判明し北郷は破損なしたる皿小鉢二三枚の代價として八十錢の辨償をなして事濟となる

●醉漢の暴行

再昨日午後八時頃龍山署の竹村巡査部長が非番のまゝ老橋町を散歩の折柄同町五番戸香川松二郎宅にて何事か喧嘩を極め居るより何事ならんと伺へば一人は仕込杖一人は短刀を手にせる二人の男何か不穩の處行にも及ばん樣なるより直樣人をして本署へ右を通報せしめ自ら取調べんと爲したる處一人は早くも逃走したる爲め折柄出張なしたる警官に殘る一人を引渡したりとの事なるが右は福岡縣生れ住所不定の早田常吉(二〇)と云ひ逃走せしは當時京町の飲食店島谷方同居青山某(三)と呼ぶ者の由にて原因は兩人等が兄弟分に當る者が前記香川の爲めに辱められたりとかを憤り酒氣に乘じて亂暴せる者と分明したれど早田は尚餘罪ある見込にて取調中

●安値な命哉

仁川龍洞大韓勞働組員趙文棠(三二)と云ふは一昨日午後八時頃阿片を服用して死を企てしが危くも同組屋八等の應急手當を受け石鹼と生油とを混合せる液を飲用して吐瀉せしめ九死に一生を得たるが其原因は生活の裕ならざると弟文植との間兒角親しからず常に喧嘩口論を爲しては遣り込めらるゝにぞ此世を果敢なみ斯くは自殺を企てしものなりとは生氣地なきヨボさと云ふべし

●文なし大盡

仁川宮町二丁目三味線屋河内福殿方雇人太田米太郎(一七)は去る廿一日來猫島新地南海樓は淀川、金槳の諸樓にて大盡風を吹かし無一文の癖に遊興せしが覺めての後の御分別とはよく云つたもの十八圓十二錢の勘定書を見て度膽を失ひ色蒼白になつた處を其筋に文なしとして突き出されしとは馬鹿な奴かな

●是も御同様

仁川本町四丁目朝日組秀貝七郎(三八)は大韓勞働組會長李明洙方一名と共に去る廿二日寺町二丁目筑後亭に登り座にアラ、ン節を呻りたる迄はよかりしも六圓六十六錢の勘定が出來ず其筋の厄介を受けたりとは是も似たり寄つたり

●同類の公判

仁川地方裁判所支部にて去る廿二日墨通關屋板倉光秀は懲役十月に同店員中川林藏は同五日に處刑されしが之れも同類なる同地本町四丁目土屋茂吉同店員西井次郎吉に對する詐欺取財事件公判は來る三十一日午前十時より同支部に於て開廷せらるゝ筈なり

●逃亡酌婦逮捕

海州共樂亭の抱酌婦浦上いち(一七)と云ふは一昨日同樓より無斷外出したる儘便船にて仁川に逃れ來りたるを仁川署員の手にて取押へ本日樓主に引渡さる

●贓品に非ずや

仁川濱町一丁目福田米藏と云ふは一昨日加來所有の倉庫を看守中襖十一枚を該倉庫に立懸けあるを發見し這は畢竟贓品に相違なしとて仁川署に届出でたり

●昨朝の火事

昨朝十時頃元第二警察署跡石室建築所事務所より出火幸ひに大事には至らざりしも其の棟を焼き拔きて鎭火す原因はストーブの煙筒よりとの事なり

●狂犬を撲殺す

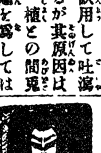
仁川仲町一丁目坂本拾吉方の飼犬は矢野獸醫檢診の結果狂犬病と判明したれば一昨日之れを撲殺したりと

●新町の土曜日曜

新町遊廓土日兩曜に亘る遊客は二百四十名にして其の費消金は千二百六十八圓七十七錢なりとは矢張り日曜の事なり

●一昨夜の敷島

遊廓登樓客は四十八名にして此揚り高は百七十八圓七十八錢なりしと



▲歌舞伎座 連日喝采を拍し居る同座第九回目今晩の狂言は前『繪本太閤記桔梗の旗揚十段目迄』『隅田川戀の保法界坊上中下』にて其の役割は左に

武智重治郎、法界坊(中村福圓)妻みさは、野分姫(中村梅女)武智光秀、道具や甚三(市川眼若)母さつき、船守れかん(中村福三郎)森蘭丸、眞柴久吉、手代要助實は吉田宿直齋(中村菊三郎)小田春永(嵐吉藏)森力丸、嫁初菊、娘れくみ(中村菊太郎)淺山多左右、加藤正淸、小道や市兵衞(市川小文治)長尾彌太郎、番頭庄八(片岡當久次)日忠上人、親權左衞門(嵐壽太郎)阿能之局、うせんや與作(中村昇若)妹桔梗、仲居れ玉(實川實若)

▲壽座 同座九日目本晩の出し物は一番目『鬼一法眼三略卷』西幕二番目『梅の由兵衛江戸花隅田の達引』にして右役割は次の如し

吉岡鬼二郎、虎藏實は源牛若丸、俠客由兵衛(阪本大之助)常盤御前、皆鶴姫、小梅(市川猿志)樋垣與一、入婿鋳解由、久庵(嵐芳之助)鬼一法眼、大江廣盛、源兵衞(片岡蝶昇)女房れ重(嵐金之助)妻成瀬、麟若小三(尾上梅枝)一八、澁谷伴五郎(市川鯉昇)金谷金五郎(市川梅孝)智惠内實は鬼三太非人せぶ六(市川好猿)一條大藏長成、信樂勘十郎(嵐勝十郎)

▲京城座 同座本晩の替り狂言は『白萬圓消防の達引』全入幕の通しにて其の役割左の如し

櫻井順造、長吉父長左衞門(泉)は組の長吉(高島)法學士河合秀郎(松村)惡漢傳吉、本莊良一(桂木)河合書生山本丹吾(美崎)岩井清花(本田)櫻井妻夏子(堀江)長吉子分留公(吉井)頭取渡邊(高山)長吉妻れとよ(金澤武夫)は組小頭平次(田宮)

●矢島政治氏永眠

一昨廿三日逝去せし本社員矢島政治氏は熊本縣上益城郡郡森村の人齡十七にて渡鮮し少らく本浦に至りしが後京城に移りて漢城新報に入り社務を修習して廣告方面に活動せり四十年十月本社の創立せらるや眞先に入社して廣告部面を擔任し奮闘勵精最も本社の爲に盡瘁せしが昨年十月病魔の犯す所となり大韓醫院に入て靜に餐を加へつゝありしに天は無情にも如斯溫厚篤實の人にも年を假さず遂に二十七を一期として鬼籍に登錄せらるゝに至る噫

▲平民文庫▼

▲出る釘は打たれると云ふ小生近來餘り出過張るからドウヤラ一寸打たれた様であると云ふのは下の投書に徴して知られたい(風聞子)▲風聞子自ら威賞保證の限りでないと承知しながら然も斯る仲傷的の記事を掲載す▲苟も記事の正確を標榜する貴紙の威嚴(?)を損傷しはせぬかと貴紙の爲に惜しむと云へば口の惡い小僧君はヲッキに憚り様とれつしやるだらう▲前口上の長いは紙面の妨げイザ本題に入る事とイツバ去る廿一日本町八丁目心配生の投書についてゐる▲時の相手石井某とは斯く申す學骨生の親分で有る元來該投書の目的たる親分石井を損傷するよりは他に目的あつて惡漢鶴本〇〇店のした仕業であると子分の小生はグット睨んだ▲由來親分石井に就ては世己に定評ありだアンナ根も葉もない事で讒傷出來ると思ふが巳に滑稽である夫れは事實が余り飛び離れ過ぎて居るからである▲ソレナラ何の爲めかと云へば實はコーダ鶴本は當初石井親分の下女を誘拐して酌婦にでも叩き賣らうと考へたが當時其下女たる者の叔母が親方石井方に居て何んとか惡漢の手から救ふてくれと頼んだのである▲義侠に富む親分は下女の三人もいらぬが可愛想だから歸れば使つてやろうと言ふたので鶴本は鰯鮮となる盟察せにあんな投書をした者と斷定する正確を期する記者よ少々實證を調べて頂戴親分は餘りれとなしいから我輩學骨生が一本參るサヨナラ(學骨生)▲鶴本君とやら一本なかる可らずだ(小僧)▲鳥致院の梅夫連にいが中にも新輸入の元二階住所の〇〇は常に淫行な人が絶ないとは今更でなさんは體面なく昨今操も甚だしく來より看板は表面の飾としたにせよ杖柱と頼んだ抱腹連の心配する內に時の旦那に聞へたら眼玉ですよ(忠告生)▲蓮で小僧君に御伺申ます僕が去日長谷川町一丁目喜樂庵と云ふ料理店にて酒四五本と肴は二三皿にて勘定の高い事實に驚く併しふお子と云ふ酌婦があいきゝように驚いた料理が高いのかれ酌が高いのか(エムオー生)▲鐘と撞木の間がなる(小僧)▲僕は漢城病院醫見記を書かふと思ふが小僧君の處で載せて呉れますか(旭川)▲原稿拜見の上でなければ判もぬと知り玉へ(小僧)▲白魚は何うして食べるのが一番美味いでしようか而して値段は百尾何の位ひが安くも高くもないと云ふ値でございませうかしら(伺度生)▲難かしい尋ねですが三十五錢では安い四十錢なら普通かしら併し四十錢では二三百尾も買はねば覺束なからうと思ひますが素人の事ですから(小僧)

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判

一月廿五日月齡十二の十四先勝六白庚寅除▲一白 業務又は官職上會心の事あらん屋入れ及子孫のため謀る事幸先好し△二黑 常事常務は支障なし旅行船下し命名入學門等凶△三碧 物事強剛に過ぎて怒りあり保健衞生にも留意すべし△四綠 不快の事多し細心の謹愼を要す盜害横領及負傷防ぐべし△五黃 職務上に疎漏過失ある勿れ酒色賭事を堅く禁ず△六白 誹謗若くは疑を受くるあり色情痴情の破れを戒しむ△七赤 中傷誣妄の恐れあり爭論衝突を戒しむ△八白 怒情を猛發し積日の効を沒却する勿れ御精算決算上紛紜起らん△九紫 居所住所の事につき配心の事あらん御他人のため世話苦勞有

●天氣豫報(自廿四日午後六時至廿五日午後六時)

晴

廿三日(華氏) 最高温度 二五、九 最低温度 一九、四

廣告



京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島壽藏
(電話四百十三番)

胃腸消化新劑
澱粉消化 チヤスタリン 錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢 散劑一オンス入(一瓶)二十錢
蛋白脂消化 ゲスチンヂ 錠劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢 散錠一オンス入(一瓶)二圓四十錢
右は最近内地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絶品にして所謂賣藥には無之候各地有名なる藥店にて販賣す
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏



內外小兒科 入院隨意
梅毒淋病
京城黃金町三丁目
高井醫院
電話(二一六)
院長 陸軍軍醫正 高井貞治



味の素 和洋料理は勿論一般の家庭料として日常欠可らざるものにて經節や昆布の樣に色々面倒な手數も入らず誰れにても即座に用ひ得らるゝ調法及經濟的調味品であります
定價一瓶(三十五錢)(四十錢)
他地方は引換小包にて送ります
韓國特約店 京城 辻屋 電話二四八番

精賓を旨とし大勉强仕候也
宮內府 博物館 御用
古今美術書畫表裝
金銀屛風襖洋式天井張
黃金町二丁目
表具 松月堂
電話千〇〇三番

龍山元町二丁目
佐藤病院
電話一〇三番

亡妻淑子送葬の際は嚴寒にも不拘御會葬被下候段奉感謝候不取敢茲に御禮申上候
明治四十三年一月廿五日
服部正一郎
實兄 手塚肇
同 小田倉啓

父矢島政治儀久敷病氣の處藥石無効一月廿三日大韓醫院に於て死去致候間此段生前辱知諸君に謹告候
追て葬式は廿五日午後三時南山本願寺別院に於て執行仕候
男 矢島正
實兄 陣內新吾
同 健次
友人 佐々正之
深水清
森隆孝
總代 高木久馬太
中村弘

書畫表裝 油繪肖像畫額 硝子金文字入 永樂町二丁目 甚野工舍

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●年齢十五歳位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物産京城支店
●小僧入用 十五歳より廿歳迄の男子三四人入用但し市内に確實なる身元引受人あるもの 辻屋本店
●漢字並室内製圖熟練の者至急御依頼に應じ度し望の方は下名へ 太平町二丁目廿三番戸 岸田
多少法科事務並に韓語の心得ある二十歳前後の書生一人雇入たし 姓名在社

物件部

●貸家 西大門内韓國領事館隣六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし 問所清水方へ
●電話譲渡又は貸付 九例〇番直接面談に限る 本町四 贊化堂藥店
●老舗譲渡 本町一丁目目抜の場所多年資込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居抜の儘至急譲渡したし 旭町一の六〇 山村

廣告

熱心眞志多年爲斯道於酒政權與行恍然似有得者矣
醫業面輕甄也

易斷觀相 京城本町五丁目
教授 三一館
館主 土御門派 陰陽師

●●●滋養と牛乳●●●
純良 牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番
馬車配達 ●●●衛生と消毒●●●

中島醫院
入院隨意 京城壽町三丁目（電話三七八番）
院主醫學得業士 中島貞信

京城西小門通六番戸
入院隨意 菅醫院
電話改番 一三一五



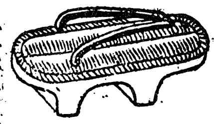
營業擴張廣告
土地家屋並商品擔保
右は秘密確實最低利に取扱可申候断續々御申越被下度候短期は日歩にて相談に可應候下記利の箇所へ電話又は御申越被下候へば早速罷出可申候
質企業
京城竹園町二丁目 樋下田本店（電話九三二番）
京城相生町（南大門魚市場裏） 樋下田支店（電話一四三九番）
龍山漢水町六十三番戸 樋下田支店（電話四〇四番）

土木建築 請負業
京城壽町一丁目九五
日田嘉吉
電話三十五番

齒科治療
本町六丁目 ドクトル 中村安子
（敷そば横町）電話一五八三番


はわた製
くつさき 防寒用各種
毛布たびさき かいまき わた類
如何なる小さき足袋を用ゆるも差支なし
代理店 京城本町一丁目（長谷川町へ通る） 栗永商店

神戸養生分院
京城梅毒病院
京城相生町（南門濟衆横）
◎花柳病專門並、痔（注射療法）
●入院隨意●
院長 醫學得業士 廣田新平（電話一二九四）

東京 足袋

正札付大安賣 厘毛引なし安心して買へ升
本店東京 京城大和町二丁目（日の出横際）大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番

醫學士北村一等軍醫正（呼吸器病及消化病擔任）を名譽院長とし其他院長以下各科分擔一般の診療に從事す
但し名譽院長出診は毎偶數日（丁日）午後とす
病室落成 入院隨意 貧民施療
贊化病院
本町四丁目 電話二四番

上等石炭各種
並に無煙炭販賣
京城本町二丁目 林田交換所（電話六十五番）

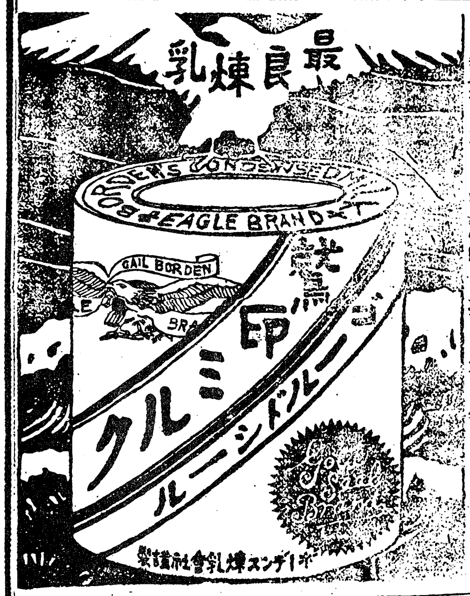
石川高等法院判事閣下校閲
今村内部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂
統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要
◎印刷鮮明 ◎頻繁整然
◎校正嚴密 ◎攜帶便利

●全一冊●紙數凡六百頁〇袖珍形〇定價金六十錢
本書は發刊以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し既に品切を生ずる至り茲に於て將一層充實を致し大目を蒐約、官制、官規、等の類鈔、給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日除白の現行法規にして些の遺漏なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、付くるを存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微意に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具
明治四十二年十二月一日
京城 日韓印刷株式會社出版部

辯護士 特許辯理士 岩田仙宗
京城明治町二丁目（佛國教會前）
電話三五四番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國ヌカンジヤ自轉車特約販賣店
時計御商 喜多金光堂本店 仁川本町三丁目 電話七五〇番
時計御小賣 喜多金光堂支店 京城本町二丁目 電話千十五番

●正味十六オンスの容量あるは全國輸入の多數ミルク中鷲印を措て他に需むる能はず



大上商店
特約販賣
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
自製
和洋酒、罐詰、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物、食料雜貨、ビール、米糀、鹽辛、日本食鹽荒物候特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候
（電話二五一番）

外科 内科
梅毒痳病專門 戸田病院
京城御成町南大門外一丁南
電話番號 九三八番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候
御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館
（電話一二一五番）

改修落成と電話開通
久しく改修中の處漸々落成仕候間不相變御贔負の程願ます
京城旭町二丁目（名古屋城横へ入る）
待合 醉月
電話二六五番

御待合 紅葉
京城南大門通三丁目光宣門側
位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切に致し御手輕を專一と心懸け候
電話一三八二番

蒸氣消毒 牛乳
京城大和町一丁目
平山牧場
電話三一一

新漬大根大賣出
◎新漬澤庵◎白菜漬◎奈良漬
宮製醬元賣捌。陶器器具一式。肥料。種苗。新具。日用雜貨。家具。工業農業用藥品一式
農商工部圖書模範場御下品

諸官衙御用達
京城本町一丁目（長谷川町通）
三輪商會
電話三八六番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行京城支店
（電話四二〇）
本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羣州、群山
出張所 大阪、熊本、佐世保、厳原、五島、壹岐
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日步壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理店 十八銀行京城支店

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、入木、高田、田原本、岸和田、御影、兵庫、神戸、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、名古屋、半田、熱田、四日市、山田、桑名、松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、松、青森、秋田、能代、弘前
北陸道 小濱、福井、敦賀、金澤、高岡、太聖寺、富山、伏木、新潟、宮津、舞鶴、新舞鶴、豊岡、鳥取
山陰道 米子、濱、松江、大手、久田、福野、姫路、西大寺、笠岡、高梁
山陽道 五島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下関、萩、德山、小郡、長府、網干
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸亀、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
韓國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、木浦、群州、大邱、群山、安東縣
清國 營州、鹵州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社 仁川廣告 電話十番
瀛船出帆
仁川海岸通 電話三九番
貨物及船客取扱店 郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 二月十一日後三時出
●大連行 相模丸 二月十五日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月三十日午前六時出
●大連行 酒田丸 二月 三日正午時出
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 一月廿六日午後時出
注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎艀ニテ無料送リ可申候送迎艀ハ五十分ノ時